

# 北海道利尻島国保中央病院

22期卒 外科 庄中達也

26期卒 小児科 浅井洋子

27期卒 内科 藤澤孝志

# 利尻島の紹介

概要:

利尻島は、北海道稚内市よりカーフェリーでおよそ1時間40分の日本海に浮かぶ島です。漁業と観光を産業としています。

人口は約6000人、周囲は約50km、頑張れば1日で島を1周することができます。利尻島には利尻町と利尻富士町と2つの町があり、当院は両町で構成する「利尻島国民健康保険病院組合」という一部事務組合が運営している病院です。



# 島の生活環境

- ・電気は島内自家発電 ガスは取扱店有り.
- ・ガソリンレギュラー160円/L ハイオク180円/L. 高い.
- ・コンビニは私の知る限りでは3件あり.
- ・インターネットはADSL8Mbpsが利用可能.
- ・フェリーは定期便は季節にもよるが利尻-稚内間を  
1日2~4往復. 飛行機は利尻-千歳間(50分)が1日1往復あり.
- ・電気屋, 本屋などはありませんがインターネットによる通販が中心.
- ・休日は釣りか仕事か温泉か. 娯楽施設は少ない.

→ → → → → **夏場はあまり困ることはないが...**

冬場は...1週間フェリーが欠航して食料難に陥ることもあるらしい.  
ex.コンビニから品物が消える

# 病院の紹介



ホームページより抜粋しますが……

- 診療科目:内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、リハビリテーション科、放射線科
- 病床数:一般48床
- 敷地面積:5,727㎡
- 建物面積:3,660㎡ 地上2階1部地下1階
- 職員数(18年11月現在)  
医師常勤4、薬剤師1、診療放射線技師1、臨床検査技師1、臨床工学士1、看護師15、准看護師6、保健師1、助産師2、栄養士1、看護助手7、事務職10、その他10、訪問看護師3
- 関連施設等:訪問看護ステーションやすらぎ
- 開院は昭和60年10月1日 23年目を迎えました。
- 診察時間:午前9時～午後5時
- 受付時間:午前8時30分～11時00分、午後1時00分～3時00分
- 休診日:土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12月31日～1月5日)

島唯一の有床病院であり、実質は内科、外科、小児科が主な診療科です。眼科は月1回、産婦人科は出張医の先生方が定期的に診療に当たってくれます。近年の地域医療の厳しさを反映して人数もずいぶん減り、診療時間はこれでは終わりません。島唯一の入院施設がある病院でありほぼ3日に1回の当直です。島内で発生した救急患者は全員当院へ搬送されます。

# 島の医療



感冒、高血圧、糖尿病、外傷などの Primary careはもちろん、検査も積極的に行います。特に腹部・心臓超音波、CT、内視鏡は島内にも常備されており、上下部内視鏡検査とその手術、逆向性膵胆管造影とその処置などは島内で行います(写真は27期藤澤のERCP中)。

外科的手術、例えば開腹手術などは現在行っておりません。後方支援病院へ搬送することになります。

外来は1日約150人(内科100人, 外科40人, 小児科10人)が受診します。病床稼働率は約70%前後です。

# 外来



旗が揚がる日(ウニをとって良い日)は外来待合いは閑古鳥. 逆に旗が揚がらない日は外来は人でごった返します. 外科は一人, 内科・小児科は二人体制で外来にあたります. 看護師さんも遅くまで外来処理をします.

non旗日・・・内科・小児科120人, 外科50人

旗日・・・内科・小児科30人, 外科10人                      平均すると140人程度.

旗が揚がると島の人は大忙しですが病院は仕事が減ります.

# 検査



## 設備

血算生化学凝固測定器, 動脈血液ガス分析装置, 心電図, ホルター心電図, トレッドミル, 腹部・心臓超音波, 単純レントゲン撮影機, CT, 透視装置, 上下部消化管内視鏡, 側視鏡, 気管支鏡, 人工呼吸器, 除細動器, 透析機等々

とりあえずPrimary careに困ることはあまりありません。

→それだけ総合的な知識と技術が求められるということですが……。

# 内視鏡



特に消化器内視鏡は当院は非常に充実しています(都会の大病院にも負けないかも?). 左は最新鋭のNarrow Band Imagingを装備した経鼻上部消化管内視鏡です. 内視鏡の技術はたとえ地域医療でも必須かもしれません. 今年は上部消化管内視鏡検査は年間600件, 下部消化管内視鏡検査は200件ペースで行っています.



# 往診



高齢化が進み，病院へ通院できない患者さんも多いため  
往診も積極的に行います．老健への往診も行います．

# 患者搬送



当院では治療が不可能なときは後方支援病院へ搬送となります。待機が可能である場合は民間フェリーで、夜間などフェリーがなく生命の危険が差し迫ると判断されたときはヘリコプター、自衛隊に搬送を依頼します。

# 今年度の後方支援病院搬送状況 (その他大腿骨頸部骨折が多数)

		当院診断	搬送後治療	搬送方法
2007.4	3歳男児	急性虫垂炎	緊急手術	定期便フェリー
2007.4	68歳男性	急性心筋梗塞	緊急PCI	定期便フェリー
2007.4	62歳女性	総胆管結石嵌頓 急性化膿性胆管炎	緊急手術	定期便フェリー
2007.5	74歳女性	不安定狭心症	緊急PCI	定期便フェリー
2007.5	36歳女性	卵管茎捻転 汎発性腹膜炎	緊急手術	定期便フェリー
2007.5	26歳女性	28週 切迫早産	保存加療	定期便フェリー
2007.5	46歳男性	慢性腎不全急性増悪による尿毒症	緊急透析	定期便フェリー
2007.5	68歳男性	アメーバ性腸炎による腸管穿孔 汎発性腹膜炎	緊急手術	定期便フェリー
2007.6	29歳男性	急性虫垂炎 汎発性腹膜炎	緊急手術	定期便フェリー
2007.6	63歳男性	右第2,3,4,5指開放骨折 右第4,5指切断	緊急手術	ヘリコプター
2007.6	65歳男性	急性心不全	保存的加療	定期便フェリー
2007.6	4歳男児	右上腕骨顆上骨折	待機手術	定期便フェリー
2007.6	65歳男性	慢性腎不全急性増悪による尿毒症	緊急透析	定期便フェリー



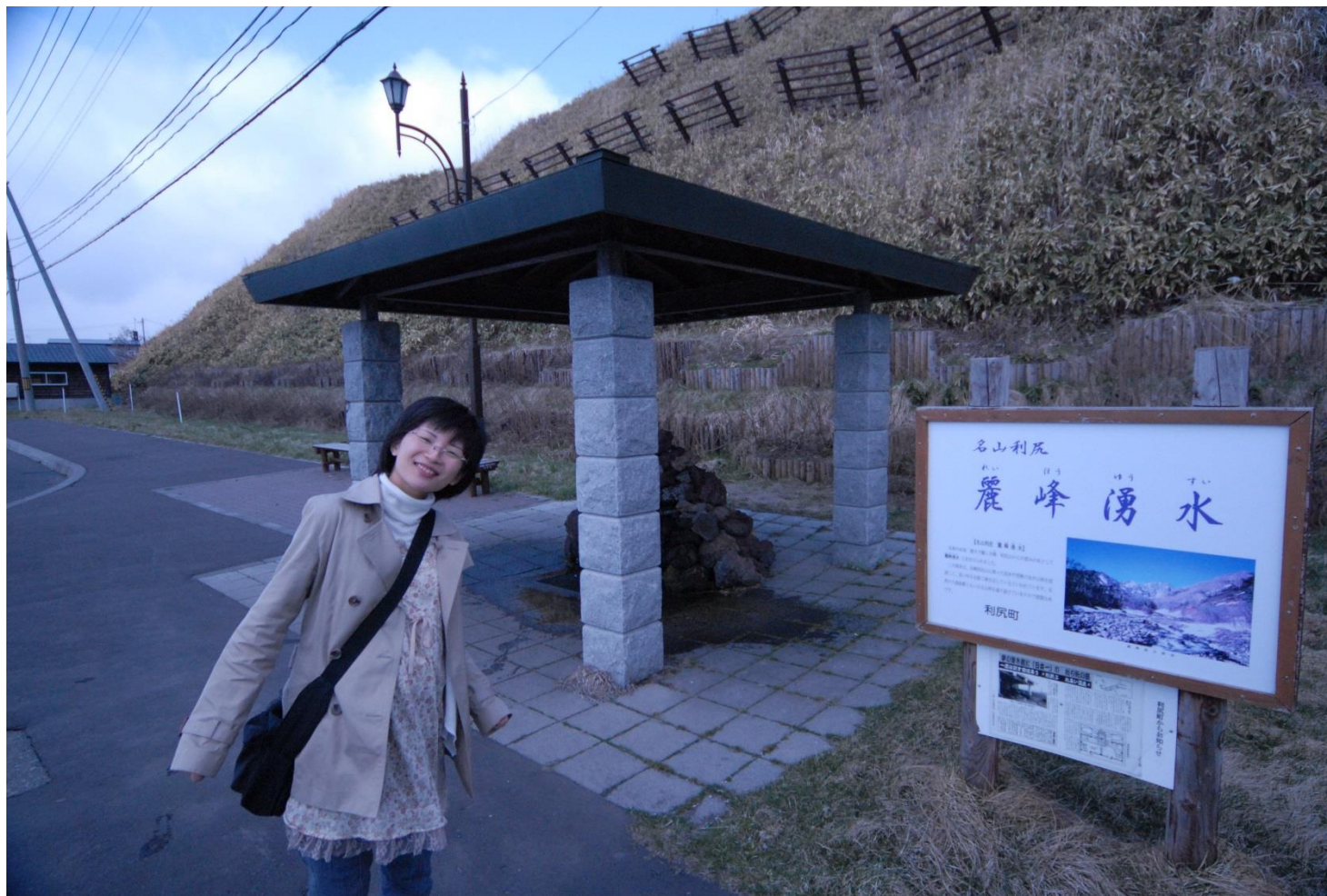
島は漁業が中心産業です。利尻昆布や利尻のウニは聞いたことがありますよね？利尻昆布は利尻で採れるから利尻昆布なのではありません。利尻昆布という立派な品種です。



病院を背に振り向けば利尻富士が広大に広がります。  
毎年この自然を求めて島の人口の数倍の観光客が  
訪れます。標高は1721mで日帰り登山が可能です。



栃木では考えられないかもしれませんが、これは月中旬の利尻富士です。気温は5度です。自治医大卒業生として最北端の勤務地です。6月上旬まで暖房を使っていました。



利尻島には日本百選の名水が2カ所湧き出ています。  
そのうちの一つ麗峰湧水です。  
夏は観光客が多く地元民はなかなか水が汲めません。



釣りに出るとメバル、ソイ、ホッケ、カレイが釣り放題です。  
タコまであがることも。秋になると鮭が釣れます。



# 学生諸君へのメッセージ

可能であれば島で完結出来る医療が望ましいと思います。しかしそれはもう時代が許さないし、患者家族の希望もいろいろです。もちろんマンパワーにも限界があります。3人の実戦医師で島のすべての疾患を診るのはほぼ不可能で、後方支援病院への要請が週に1度か2度あります。昨今は専門化の時代ですが、地域医療では内科全般、小児科、外科、整形外科など、あらゆる疾患を自らの力量をわきまえた上で適切な判断を要求されます。

学生諸君も卒後2年の研修を終えると責任ある患者さんの主治医となります。非常におそろしいことです。あなたの一言でスタッフ全員が動くし、ヘリもジェット機も飛ばすことが可能です。離島ならではの都会の病院では考えられない制約もたくさんあります。それらを自ら判断し・責任を負い・患者さんの運命をその背に負う覚悟はあるでしょうか。いまは学生という身分を大いに謳歌して良いと思います。私もろくに勉強はしませんでした(勉強しなくて良いという意味ではありませんので勘違いしないように)。しかし少しずつでも良い、これから責任ある医療者となる自覚を芽生えさせてください。そのヒントは自治医科大学の先生方の言葉一つ一つに隠されています。学生のうちはわからないかもしれませんが、卒業して医師となったとき、その意味に気がつくときが必ず来ます。とにかく、先生方の声に耳を傾けてください。

立派になった自治医大卒業生医師としてともに活躍できることを期待します。

後輩たちへ 27期卒 藤澤 孝志